



令和元年度

管内概要

青森県
西北地域県民局
地域整備部

立佞武多

今から約100年前の明治末期、五所川原には高さ20m以上の巨大な人形ねぶたが威勢よく街を練り歩き、賑わいを見せていました。しかし、大正に入り、電気の普及とともにこの巨大ねぶたは姿を消しました。

その後、平成5年に巨大ねぶたの写真と設計図が発見され、平成8年に五所川原市の有志たちにより80年ぶりに巨大ねぶたが復元されました。これが全国的に大きな反響を呼び、五所川原市並びに津軽半島地域の知名度を高め、青森県を代表する夏祭りの一つとなりました。毎年約170万人の見物客が訪れています。

表紙……平成30年の新作立佞武多『けいこしょうこん稽古照今・とび神武天皇、金の鷄を得る』

神武天皇が日向高千穂から東征の途中、ナガスネヒコとの戦いで苦戦していたところ、金鷄が天皇の弓の上端に飛来し、金色のまばゆい光を発して敵兵の目をくらませ勝利をもたらしたという伝説がある。

神武天皇はその後、やまと大和を平定し、かしはら「橿原」で初代天皇として即位したとされる。

本作は、金鷄を得た神武天皇の勇姿を現したものである。

この立佞武多を、いにしえ古を見つめ直し、それを今に伝え、活かしながら初心に返り、再び新しい時代に向かって共にこの現代を生き抜いていこうという象徴としたい。

制作者 福士裕朗

目 次

I. 管内の概要	2
1. 管内のあらまし	3
2. 事業費調べ	4
3. 職員現員表	5
II. おもな事業等	6
1. 道 路	7
2. 河 川	11
3. ダ ム	12
4. 海 岸	13
5. 砂 防	14
6. 急傾斜・地すべり	15
7. 港 湾	17
8. 建 築	18
9. 用地・財産管理	19
奥津軽歴史探訪 MAP	20
管内図	

I 管内の概要



白神の森遊山道の紅葉（鱒ヶ沢町）

「白神の森遊山道」は、鱒ヶ沢町の中心部から南へ車でおよそ30分ほどの黒森地区にあります。

およそ52haのエリアは、人の手が加えられておらず、樹齢200年を越えるブナも見受けられ、白神山地核心部同様の森林景観を保っており、遊歩道も整備されております。

1. 管内のあらまし

所管区域は、津軽半島西部から県南西部の秋田県境までの西北五地域であり、面積は約1,794平方キロメートル（県全体の18.6%）、構成市町は五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町の2市5町、人口は約13.7万人（県全体の10.9%）となっています。

当管内は、ブナの原生林で知られる世界自然遺産「自神山地」、その自神山地に源を発し十三湖に至り日本海に注ぐ、歴史と文化を育んできた母なる川「岩木川」、「青池」をはじめ神秘的な湖沼美を誇る「十二湖」、秋田県境から津軽半島西部の長い海岸線は津軽国定公園として指定されるなど、風光明媚で豊かな自然環境を有しています。

また、遮光器土偶で知られる縄文晩期の「亀ヶ岡遺跡」、中世に一大港湾として栄えた「十三湊遺跡」や、2万8千年前の世界最大級の「出来島海岸の埋没林」、「青森ねぶた」や「弘前ねぶた」と並んで県内有数の入込客数を誇る勇壮な夏祭り「五所川原立佞武多」、昭和の文豪太宰治の生家「斜陽館」など、歴史に彩られた文化遺産にも恵まれ、県内外から訪れる観光客を魅了しています。

さらに、西北地域は、水稻や野菜、果物の栽培、日本海の高産物など、豊富な地域資源を持つとともに、平成22年12月に東北新幹線が全線開通し、平成28年3月26日には北海道新幹線奥津軽いまべつ駅が開業したという状況にあります。

このような地域の特性を生かし、平成26年度からの「青森県基本計画未来を変える挑戦」では、当地域におけるめざす姿として

- たくましい農林水産業
- 「シンカ」し続ける観光産業
- 地域ぐるみで健康づくり
- 暮らしやすい社会

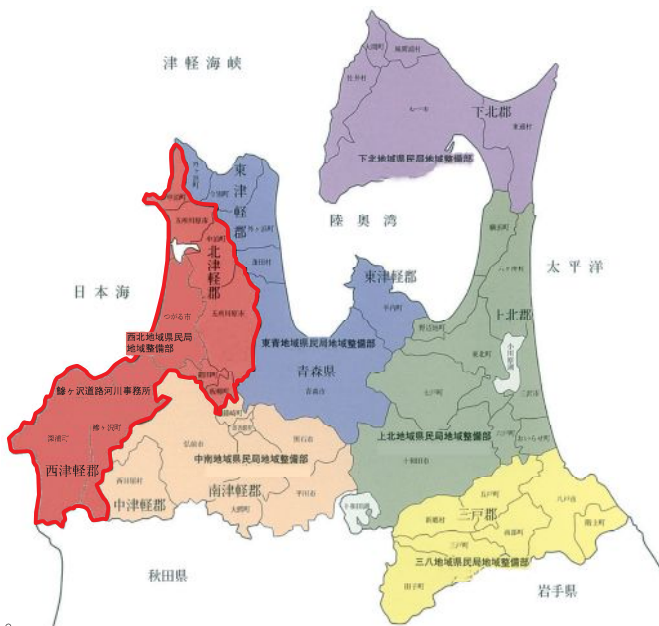
を示しています。

これらの実現には道路交通網の整備や港湾機能の充実、災害に強い河川整備等、社会基盤の整備が不可欠であり、当地域整備部が担う役割は大きなものがあります。

○管内位置図及び管内市町概況

管内	市町	面積	人口
西北地域整備部	五所川原市	404.20 km ²	52,404人
	つがる市	253.55 km ²	31,408人
	板柳町	41.88 km ²	13,203人
	鶴田町	46.43 km ²	12,678人
	中泊町	216.34 km ²	10,378人
	計	962.40 km ²	120,080人
鱒ヶ沢道路河川事業所	鱒ヶ沢町	343.08 km ²	9,322人
	深浦町	488.90 km ²	7,645人
	計	831.98 km ²	16,967人
合計		1,794.38 km ²	137,047人
青森県全体		9,645.65 km ²	1,258,753人

※人口は青森県の推計人口(平成31年2月1日現在)による。
面積は平成30年全国都道府県市町村別面積調(国土地理院)による。

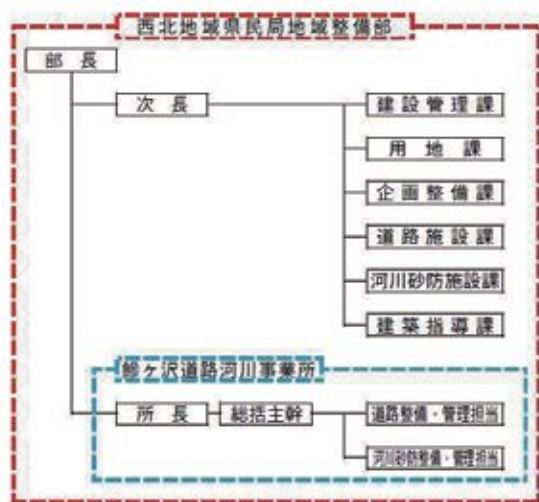


2. 事業費調べ

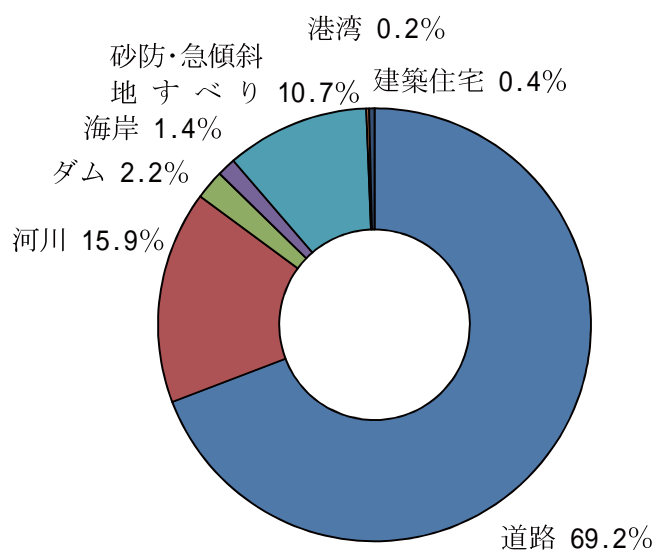
(単位：百万円)

事業別	平成30年度(内示額)			令和元年度(内示額)			対前年度比 ②/①
	補助事業	県単事業	合計①	補助事業	県単事業	合計②	
道路	3,173.6	1,652.1	4,825.7	3,819.5	1,815.5	5,635.0	117%
河川	552.0	621.7	1,173.7	786.0	509.9	1,295.9	110%
ダム	83.2	58.3	141.5	75.0	106.4	181.4	128%
海岸	47.0	135.6	182.6	0.0	117.0	117.0	64%
砂防・急傾斜地すべり	427.0	248.3	675.3	615.0	259.1	874.1	129%
港湾	263.0	61.4	324.4	0.0	12.7	12.7	4%
建築住宅	28.1	5.5	33.6	23.1	9.7	32.8	98%
合計	4,573.9	2,782.9	7,356.8	5,318.6	2,830.3	8,148.9	111%

○機構



○令和元年度事業種構成比



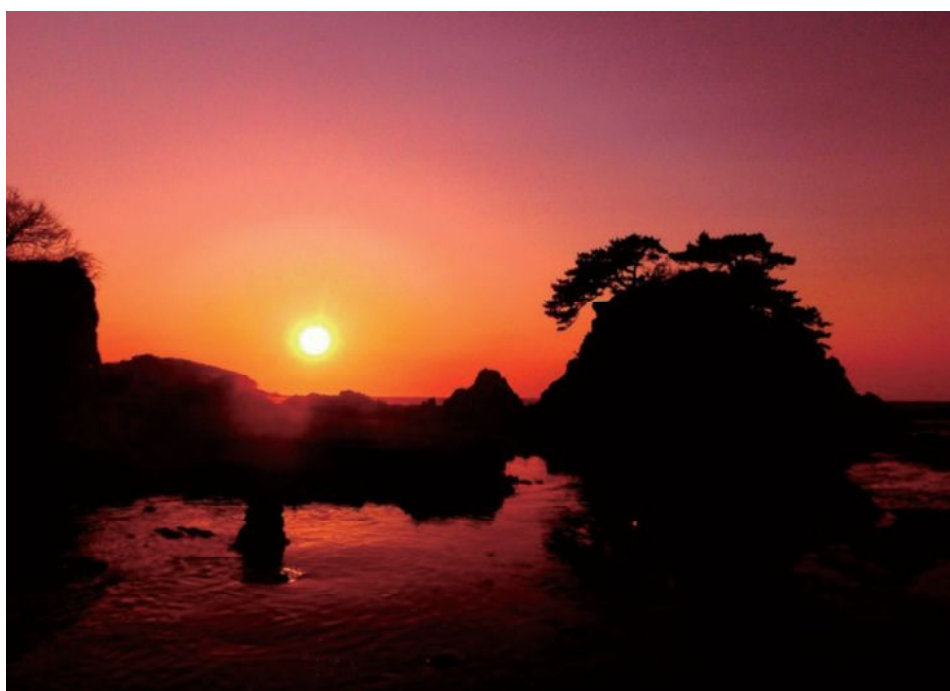
3. 職員現員表

平成31年4月1日現在

区 分	一 般 職													技 能 職	非 常 勤							合 計			
	部 長	所 長	次 長	副 参 事	総 括 主 幹	課 長	主 幹	主 査	主 事	技 師	主 幹 専 門 員	主 任 専 門 員	専 門 員		技 能 技 師	計	砂 利 採 取 監 視 員	非 常 勤 事 務 員	登 記 嘱 託 員	道 路 監 視 員	河 川 監 視 員			夕 ム 監 視 員	専 任 当 直 員
西北地域 民局 地域 整備 部	部 長	1													1									0	1
	次 長			2											2									0	2
	建設管理課				1		2	1	3						7	1								1	8
	用地課				1		2	2	2		2				9	1	2							3	12
	企画整備課			1*			1					1			2	1								1	3
	道路施設課				1		3	2		5		1	1		13			2						2	15
	河川砂防施設課					1	2	1		3			2		9				2	1				3	12
	建築指導課				1			1		1		1			4	1								1	5
	計	1	0	2	1	3	1	10	7	5	9	2	3	3	0	47	1	3	2	2	2	1	0	11	58
鱒ヶ 沢 道路 河川 事業 所	所 長		1												1									0	1
	総括担当 (副所長)					1									1									0	1
	道路整備・ 管理担当						1	2		1		1			5	1		1						2	7
	河川砂防整備・ 管理担当						1	1		2		1			5				1					1	6
	当 直														0							4	4	4	4
	計	0	1	0	0	1	0	2	3	0	3	0	1	1	0	12	0	1	0	1	1	0	4	7	19
合 計	1	1	2	1	4	1	12	10	5	12	2	4	4	0	59	1	4	2	3	3	1	4	18	77	

※課長兼務

Ⅱ おもな事業等



岡崎海岸の夕陽（深浦町）

海岸の風景を鮮やかな茜色に染め上げる深浦の夕陽。
海岸沿いの国道からは、見渡す限りの夕陽パノラマを楽しむことができます。

1. 道 路

青森市から五所川原市、鱈ヶ沢町を經由して日本海沿いを南下し、秋田県に至る国道101号と津軽半島を縦断する国道339号の2つの国道を基幹に、鱈ヶ沢蟹田線等の14路線の主要地方道と、58路線の一般県道により構成されており、全体で74路線、総延長約784kmを管理しています。

〈管内の道路ネットワーク整備について〉

◆整備方針

「奥津軽」と称される西北地域は、世界自然遺産白神山地や秋田県境から津軽半島に至る西海岸（津軽国定公園）など風光明媚で豊かな自然環境、及び多くの文化遺産を有していることから、この奥津軽の「観光力」強化を推進するとともに、地域の産業、経済、医療を支援する広域道路ネットワークの形成を図ります。また、東日本大震災でも認識されたように、広域災害時の避難・救援活動、物資輸送のための機能強化を図ります。

○令和元年度の道路関係事業費（内示額）

（単位：百万円）

工 種	補 助 事 業	県 単 事 業	計
道 路 改 築	1,739.9	72.4	1,812.3
橋 梁 補 修	1,174.0	121.3	1,295.3
橋 梁 架 替	30.0	77.2	107.2
交 通 安 全	192.2	107.8	300.0
災 害 防 除	310.4	197.5	507.9
凍害防雪・その他	373.0	1,239.3	1,612.3
合 計	3,819.5	1,815.5	5,635.0

○令和元年度の主な道路事業費

事業種別	路 線 名	施 工 箇 所	施工延長 (m)	事 業 費 (百万円)	事 業 概 要
国道改築	国道101号	深浦町追良瀬	第Ⅱ期 3,600.0	100.0	用地買収 改良工
国道改築	国道339号	中泊町今泉～ 五所川原市太田	1,880.0	250.0	改良工
県道改築	五所川原車力線 (仮称:第二津軽大橋)	中泊町福浦～ つがる市車力	6,060.0	520.0	舗装工
交付金 橋梁補修	屏風山内真部線 (神田橋)	五所川原市金木町神原	389.5	500.0	耐震補強

1. 津軽自動車道

青森市浪岡（浪岡IC）を起点とし、五所川原市を経て鱈ヶ沢に至る延長約38kmの一般国道（国道101号）の自動車専用道路です。現在まで、青森市浪岡からつがる柏ICの19.5km及び、鱈ヶ沢町舞戸町からつがる市木造越水の国道101号までの鱈ヶ沢道路3.7kmが供用中。また未着手区間であるつがる柏IC～つがる市木造越水間の「柏浮田道路」（12.3km）が、平成30年度から事業実施中です。

2. 国道101号

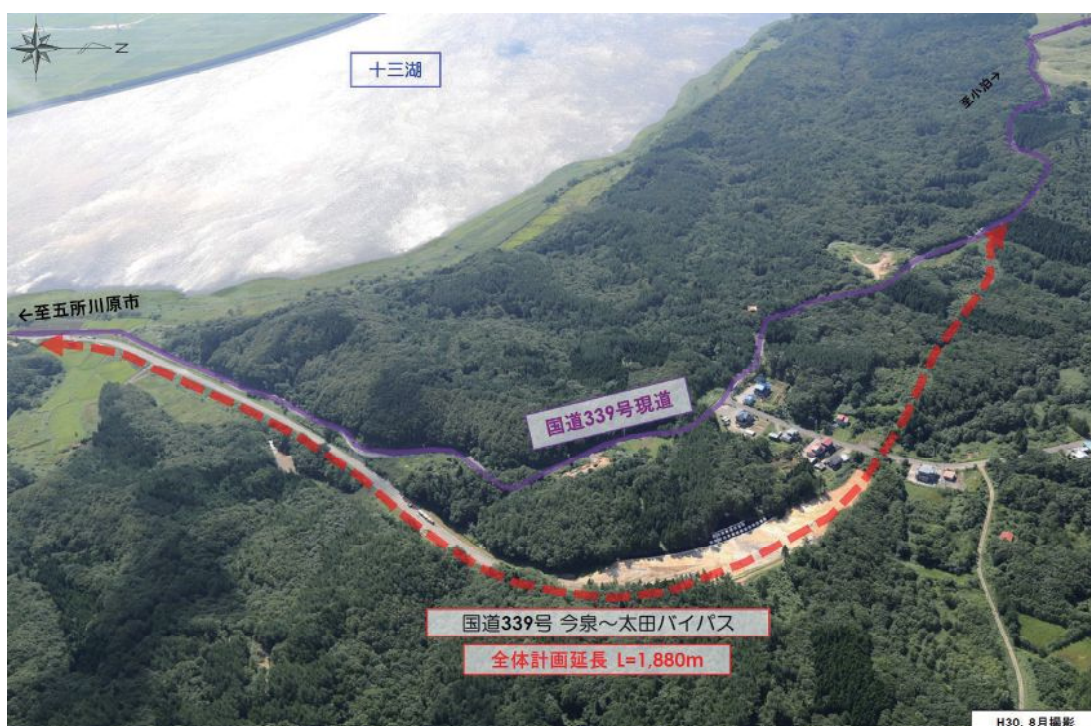
青森市浪岡から五所川原市、鯨ヶ沢町等を経由し、日本海沿いに南下する国道101号は、地域住民にとって生命線と言える幹線道路であり、重要な生活道路でもあります。このため、道路利用者の利便性の向上を図るために、鯨ヶ沢バイパス延長7.6kmを平成14年度に供用し、田野沢バイパスは平成17年度延長0.6kmを部分供用し、平成19年度残1.15kmが完成し、全体延長1.75kmが供用されました。

また、追良瀬バイパス第一期工区延長2.4kmも平成19年度に完成し供用されました。引続き平成20年度から、幅員狭小、線形不良、急勾配の隘路区間の解消を図るため、追良瀬バイパス第二期工区延長3.6kmに着手しています。



3. 国道339号

弘前市を起点とし、藤崎町、五所川原市、中泊町を経て外ヶ浜町で国道280号と接続する、津軽半島を縦貫する幹線道路です。平成16年度から、中泊町今別～五所川原市太田間の急勾配及び急カーブを解消し、安全で円滑な自動車交通の確保を目的とした、全体延長約1.9kmの今泉～太田バイパスに着手しています。



4. 主要地方道五所川原車力線

五所川原市を起点とし、一級河川岩木川河岸地域を連絡してつがる市車力町に至る幹線道路です。平成13年度から岩木川を跨ぐ「(仮称)第二津軽大橋」(橋長600m)を含む全体延長6.0kmのバイパス整備を推進しています。これにより、つがる市車力町と中泊町との地域間交流の活性化と津軽半島地域の広域観光圏形成の支援を行っています。



◆ (仮称) 第二津軽大橋



5. 津軽横断道路

青森空港から青森市浪岡、板柳町等を経由して岩木山麓に至る道路として、空港から津軽国立公園へのアクセスと沿道市町村間の連携、交流の促進を図ることができる、観光、産業そして生活において重要な道路です。この道路を構成する五所川原岩木線、常海橋銀線等の整備促進を図り、平成27年12月には十川を横断する上常海橋～福館工区及びJR五能線を跨ぐ掛落林工区の供用が開始されました。また、「町道高増常海橋線」（常海橋～高増間）については、平成29年度新規着手し、調査、設計を行っています。

◆上常海橋～福館工区



◆高増工区



2. 河 川

岩木川水系の十川をはじめとする1級河川24河川と、白神山地を源とし日本海にいたる赤石川、笹内川等の2級河川26河川があり、総延長364.707km（1級河川180.907km、2級河川183.800km）を管理しています。

国庫補助事業や県単独事業により、安全・安心な地域づくりのため、治水安全度の向上を目指した河川改修や良好な河川環境の整備等を行っています。

○令和元年度の主な補助事業

事業名	河川名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
事業間連携	十川	五所川原市みどり町	140.0	地盤改良（排水ドレーン工）
大規模特定	金木川	五所川原市金木町	270.0	築堤、用地測量、用地補償外
広域河川改修	十川	五所川原市広田～梅田	112.0	橋梁、築堤、掘削、用地補償
	中村川	鯉ヶ沢町舞戸町	140.0	護岸、用地補償外
広域河川改修 (国土強靱化対策)	十川	五所川原市	40.0	伐採・掘削
	旧十川	五所川原市金木町	10.0	伐採・掘削
	金木川	五所川原市金木町	54.0	築堤
	中村川	鯉ヶ沢町舞戸町	20.0	伐採

○令和元年度の主な県単事業

事業名	河川名	施工場所	実施予定内容
河川改良	天神川	五所川原市戸沢	護岸工
	鳴沢川	鯉ヶ沢町建石町	調査・用地補償外
河川維持	山田川外	つがる市富菟町外	漏水対策、河床掘削、護岸
河床整理	相内川外	五所川原市	河床掘削
河川維持管理	十川外	五所川原市広田外	樋門・樋管の管理外
河川総合開発	笹内川外	深浦町岩崎外	流量観測
水防	管内河川		河川情報システム維持管理



金木川大規模特定河川事業及び旧十川広域河川改修事業（五所川原市）

3. ダム

昭和47年に完成した「飯詰ダム」と平成8年に完成した「小泊ダム」の2つのダムを管理しています。洪水調節、既得取水の安定化と環境保全、上水道水の供給を行っています。

○ダム諸元

河川維持		飯詰ダム	小泊ダム
位	置	一級河川岩木川水系飯詰川	二級河川小泊川水系小泊川
形	式	中心コア型アースダム	直線重力式コンクリートダム
堤	高	38.0 m	33.5 m
堤	頂	長	234.0 m
堤	堆	積	241,000 m ³
総	貯	水	容
有	効	貯	水
集	水	面	積
湛	水	面	積
上	水	道	用
事	業	期	間
総	事	業	費
平成31年度	県	単	ダ
平成31年度	公	共	堰



飯詰ダム（五所川原市）



小泊ダム（中泊町）

4. 海 岸

市浦海岸をはじめとした22海岸で27,431m（五所川原8,276m、鱒ヶ沢19,155m）を海岸保全区域にしており、海岸浸食事業や海岸環境整備事業などにより整備を継続しています。

○令和元年度の主な県単事業

事業名	海岸名	施工場所	実施予定内容
海岸整備	折腰内海岸	中泊町小泊折腰内	離岸堤嵩上外
	黒崎海岸	深浦町黒崎	離岸堤嵩上
	大和田海岸外	鱒ヶ沢町大和田外	護岸工補修外



折腰内海岸（中泊町）



黒崎海岸（深浦町）

5. 砂 防

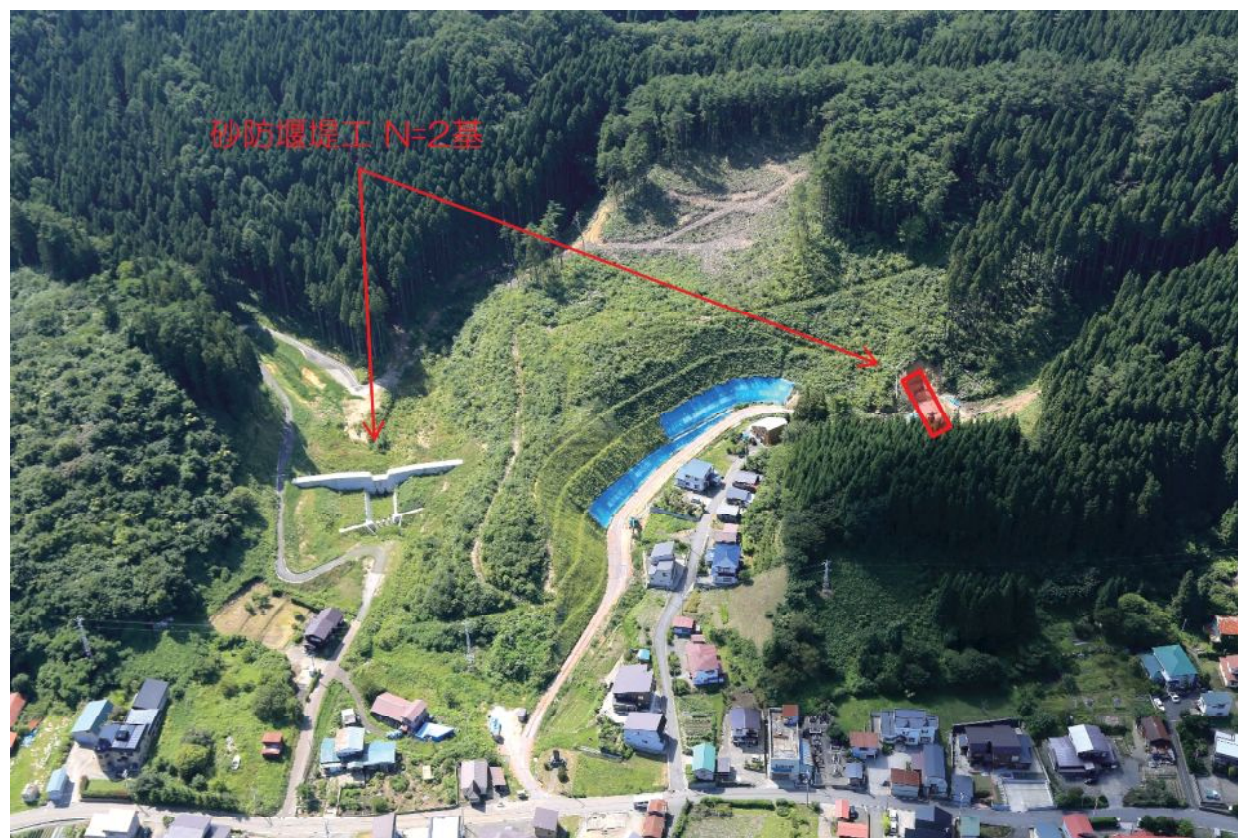
県内で初めて、昭和8年に赤石川支川の築出沢と鮎石沢に砂防ダムを施工して以後、196溪流を砂防指定地告示し、荒廃の著しい溪流や災害が発生した溪流を中心に砂防事業を進めることで、土砂災害防止に努めております。

○令和元年度の主な補助事業

事業名	溪流名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
総合流域防災 (砂防)	北南中村沢	鱈ヶ沢町中村町	40.0	本堤工
	中村沢	鱈ヶ沢町中村町	60.0	本堤工
総合流域防災 (緊急改築)	砂山沢	中泊町小泊	10.0	砂防えん堤改良
	寺の沢	深浦町岩坂	10.0	調査・設計
通常砂防	白倉沢	中泊町小泊	50.0	用地測量、用地補償、調査外
	大山下沢	深浦町追良瀬	65.0	本堤工
	郷沢川	深浦町柳田	70.0	本堤工
	トモエ沢	深浦町北金ヶ沢	30.0	調査・用地補償外

○令和元年度の主な県単事業

事業名	溪流名	施工場所	実施予定内容
砂防維持調査費	下前区域外	中泊町下前外	地すべり観測システム点検外
砂防整備(自然災)	鮫貝沢2外	中泊町小泊外	用地補償、工事中道路工外
砂防整備(一般)	笹内川外	深浦町	調査・設計外



北南中村沢砂防えん堤 (鱈ヶ沢町)

6. 急傾斜・地すべり

1. 急傾斜

地形上の特徴から海岸や河川沿いで背後が急斜面となっている危険な箇所に住家が集中しており、急傾斜地崩壊危険区域指定箇所が134箇所あります。

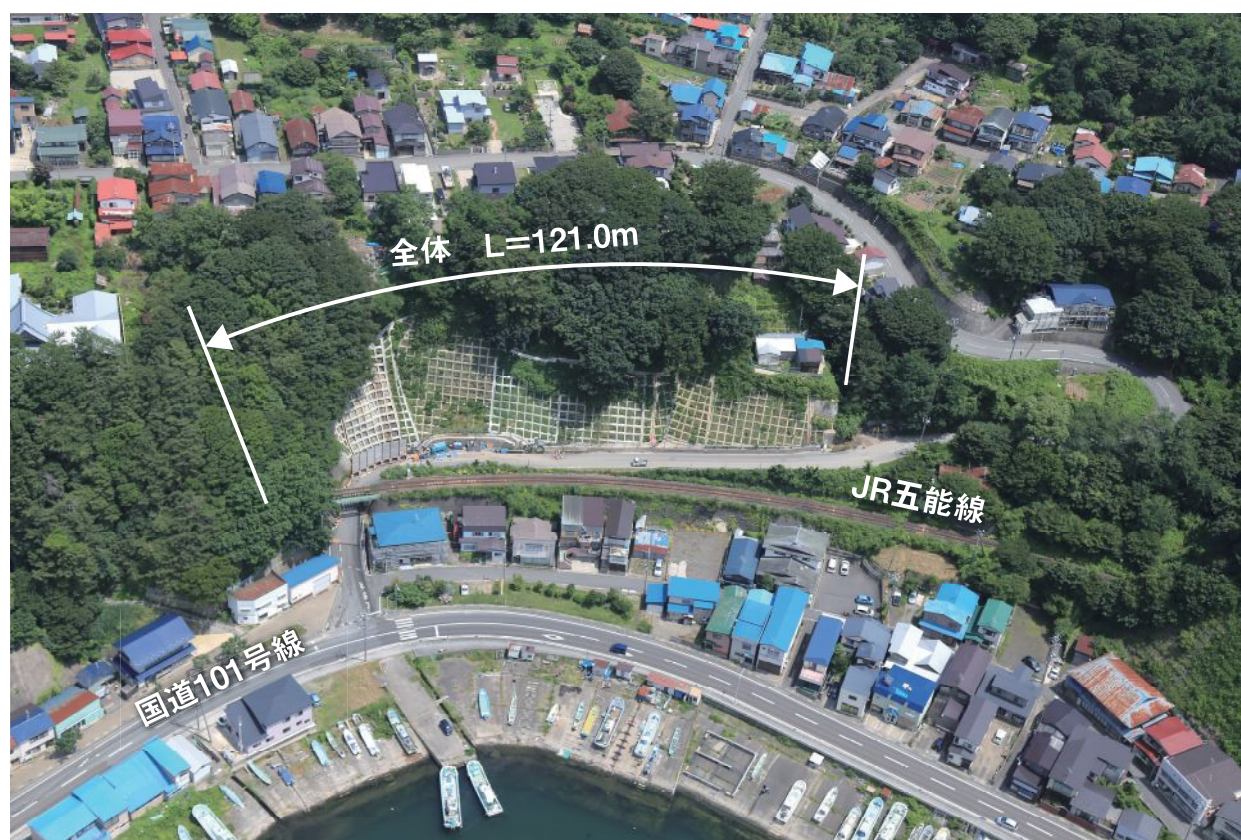
指定箇所においては、法枠や植生等を用いた法面崩壊防止工事を実施しています。

○令和元年度の主な補助事業

事業名	区域名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
急傾斜地崩壊対策	南浮田町	鯨ヶ沢南金沢町	40.0	地すべり観測システム点検外
急傾斜地崩壊対策 (総合流域防災)	北浮田町	鯨ヶ沢北浮田町	40.0	用地補償、工事用道路工外
	万年坂	深浦町深浦	40.0	現場打吹付法枠工
急傾斜情報基盤	赤石地区	鯨ヶ沢町舞戸外	30.0	調査・設計外

○令和元年度の主な県単事業

事業名	区域名	施工場所	実施予定内容
急傾斜地対策	岡崎2号	深浦町深浦	補強土植生法枠工
	薄市2号	中泊町	補強土植生法枠工
	権現区域	つがる市富蒔町	待受擁壁工



万年坂区域急傾斜地崩壊対策事業 (深浦町)

7. 港 湾

1. 深浦港

深浦港は、古くは江戸時代、津軽藩の貿易主要港として栄えた歴史ある地方港湾です。昭和26年には避難港に指定され、以来主に日本海沖合航行船舶の退避を目的とした防波堤及び泊地の整備が進められてきました。また、周辺海域は優れた漁場であり、当地の主要産業である漁業の振興を図るため、物揚場等の整備も行っています。

2. 七里長浜港

七里長浜港は、十三湖から続く砂丘地帯の南側に位置し、津軽地域総合開発の拠点港として昭和58年に着手し、平成9年より一部供用開始しました。津軽地域から発生する物流需要や、環日本海時代に向けた沿海諸国との貿易に対応するための流通港湾として整備しています。現在は主に建設用資材としての砂利・砂・石材の移入及び住宅・家具等の建材としての木材の輸移出に利用されています。

また、当港は世界遺産「白神山地」、中世の港「十三湊（とさみなと）」、「弘前城」等津軽地域の観光地へのアクセスが容易な位置にあることから、大型旅客船が観光クルーズで入港している港でもあります。

○令和元年度の主な補助事業

事業名	港湾名	施工場所	事業費(百万円)	実施予定内容
統 合 補 助	七里長浜港	鯨ヶ沢町北浮田町	51.0	橋梁補修

○令和元年度の主な県単事業

事業名	港湾名	施工場所	実施予定内容
港 湾 整 備	深浦港	深浦町深浦	照明灯補修等
	七里長浜港	鯨ヶ沢町北浮田町	港湾運営等



深浦港（深浦町）



七里長浜港（鯨ヶ沢町）

8. 建 築

1. 建築基準法に関する業務

建築基準法第6条他の規定により『建築主は建築物（法第6条第1項第1号から第4号）を建築する場合、又は工作物及び建築設備を設置する場合、工事に着手する前に、その計画が建築基準関係規定に適合するものであることについて、確認の申請書を提出して建築主事の確認を受けなければならない。』ことになっています。

○平成30年度建築確認申請件数

管内市町	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	板柳町	鶴田町	中泊町	計
申請件数	67	21	2	6	4	8	3	111

2. 公営住宅法に関する業務

市町が公営住宅を建設する場合、その住宅が公営住宅法の基準に適合していることを確認します。

3. 県営住宅に関する業務

西北地域県民局地域整備部管内の県営住宅は、松島団地、新宮団地、広田団地の3団地398戸で、いずれも五所川原市内にあります。

これらの県営住宅の管理は、指定管理者制度の導入に伴い、平成18年4月1日から県営住宅等指定管理者である「株式会社サン・コーポレーション」が実施しています。

団地名	戸数	家賃（月額）	住宅の概要
松島団地 （松島町6丁目）	56戸	17,700円～ 41,700円	①平成2～4年度に建替事業で建設 ②建築は鉄筋コンクリート造3階建、3層を2戸で構成するメゾネット形式の共同住宅 ③1階住戸には専用庭がある準設置型住宅 ④住戸は2DK（2タイプ）と3DKの3タイプ
新宮団地 （長橋字広野・若葉3丁目）	102戸 （うち特定公共賃貸住宅5戸）	16,000円～ 43,500円 （特定公共賃貸住宅58,000円）	①平成10～14年度に建替事業で建設 ②建物は木造2階建と平屋が混在する長屋建住宅 ③住戸は平屋（2LDK）と2階建（3LDK）の2タイプ
広田団地 （みどり町5丁目）	240戸	10,300円～ 26,400円	①昭和51年～54年度に建設 ②建築は鉄筋コンクリート造4階・5階建の共同住宅 ③住戸は3Kと3LDKの2タイプ
3団地	398戸		



松島団地



新宮団地



広田団地

9. 用地・財産管理

○平成30年度用地取得及び補償実績

(単位：円)

事業費	箇所数	関係者数	用地補償費 総額	用地買収費			補償費		
				筆数	面積 (㎡)	金額	件数	金額	
補助事業	道路事業	22	30	29,472,114	28	13,821.78	18,326,967	17	11,145,147
	河川事業	6	15	42,109,863	13	6,246.51	14,565,553	5	27,544,310
	砂防事業	3							
	急傾斜地崩壊対策事業								
	地すべり対策事業								
	計	31	45	71,581,977	41	20,068.29	32,892,520	22	38,689,457
単業	道路事業	9	18	20,110,036	7	601.21	1,347,592	8	18,762,444
	河川事業	14	7	12,076,965	3	96.50	412,488	6	11,664,477
	砂防事業	6	29	1,812,175	7	383.23	258,103	2	1,554,072
	急傾斜地崩壊対策事業								
	地すべり対策事業								
	計	29	54	33,999,176	17	1,080.94	2,018,183	16	31,980,993
合計	60	99	105,581,153	58	21,149.23	37,910,703	38	70,670,450	

○平成30年度使用占有許可業務状況調

(単位：円)

区分	道路 占有許可		河川 占有許可		港湾使用 占有許可		土石採取等 占有許可		海岸 占有許可		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
有料	125	24,672,104	78	8,246,699	238	13,570,598	2	112,500	7	154,380	450	46,756,281
無料	532	—	104	—	35	—	—	—	2	—	673	—
計	675	24,672,104	182	8,246,699	273	13,570,598	2	112,500	9	154,380	1,123	46,756,281

奥津軽歴史探訪MAP

奥津軽エリアは、縄文・亀ヶ岡、中世・十三湊、近世・北前船の歴史遺産など見どころたっぷり！
歴史の風を感じながら、じっくりと巡ってみませんか。

■中世・十三湊

- 1 柴崎城跡 2 唐川城跡 3 龍興寺跡(春日内観音堂) 4 山王坊遺跡(日吉神社) 5 蓮華庵の板碑
- 6 市浦歴史民俗資料館 7 福島城跡 8 十三湊遺跡 9 浜の明神跡(湊神社) 10 中世の水戸跡
- その他
- 11 みちのく松陰道 12 徐福の里公園 13 オセドウ貝塚 14 中里城遺跡 15 中泊町博物館

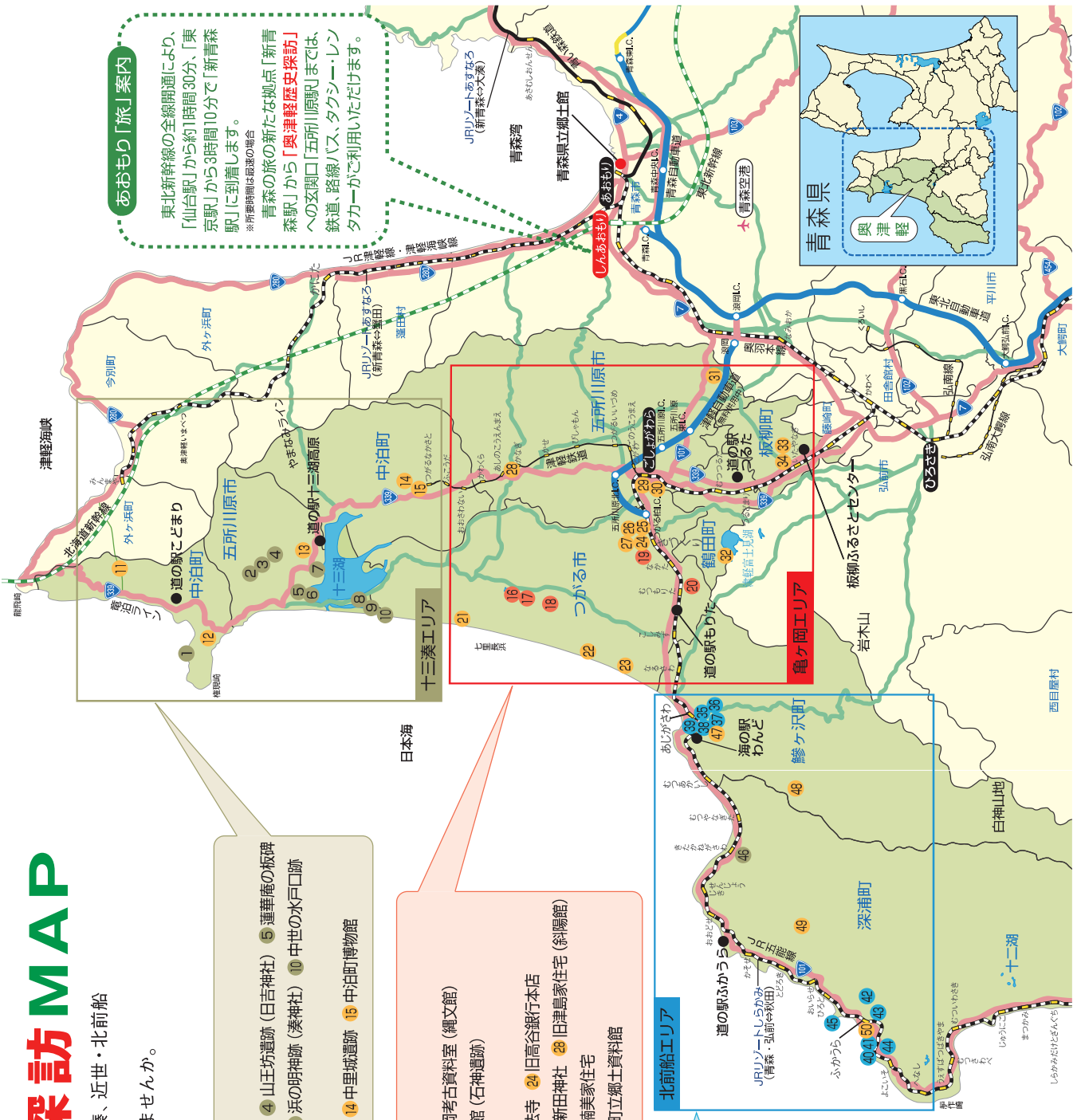
■縄文・亀ヶ岡

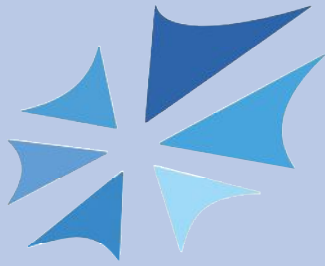
- 16 田小屋野貝塚 17 亀ヶ岡石器時代遺跡 18 木造亀ヶ岡考古資料室(縄文館)
- 19 縄文住居展示資料館(カルコ) 20 森田歴史民俗資料館(石神遺跡)
- その他
- 21 高山稲荷神社 22 最終氷期埋没林 23 西の高野山弘法寺 24 旧高谷銀行本店
- 25 旧制木造中学校講堂 26 木作御飯屋・代官所跡 27 三新田神社 28 旧津島家住宅(斜陽館)
- 29 商都五所川原歴史館「布嘉屋」 30 旧平山家住宅 31 楠美家住宅
- 32 廻堰大溜池(津軽富士見宮) 33 深味八幡宮 34 板柳町立郷土資料館

■近世・北前船

- 35 白八幡宮 36 願行寺 37 来生寺
- 38 天童山公園 39 鱈ヶ沢町奉行所・御飯屋跡
- 40 春光山円覚寺 41 風待ち館
- 42 深浦町奉行所・御飯屋跡
- 43 神明宮トヨの名水 44 日和見山 45 行台崎
- 中世・十三湊
- 46 関の古碑群
- その他
- 47 高沢寺庭園(瀧真園) 48 種里城跡
- 49 見入山観音堂
- 50 深浦町歴史民俗資料館・美術館

あおもり「旅」案内
東北新幹線の全線開通により、「仙台駅」から約1時間30分、「東京駅」から3時間10分で「新青森駅」に到着します。
※所要時間は概算の場合
青森の旅の新たな拠点「新青森駅」から「奥津軽歴史探訪」への玄関口「五所川原駅」までは、鉄道、路線バス、タクシー・レンタカーがご利用いただけます。





青森県基本計画

「選ばれる青森」 への挑戦

支え合い、共に生きる

青森県西北地域県民局地域整備部

〒037-0046 青森県五所川原市栄町10
合同庁舎（代表）TEL 0173（34）2111
（直通）TEL 0173（35）2105
FAX 0173（35）9114

鱒ヶ沢道路河川事業所

〒038-2761
青森県西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸384の37
TEL 0173（72）3135 FAX 0173（72）3114

立佞武多「稽古照今・神武天皇、金の鵄を得る」(五所川原市)